

## 平成29年度第1回安城市スポーツ推進審議会議事録

日 時	平成29年5月25日（木）午後1時30分～午後3時05分
場 所	安城市体育館3階第4会議室
出席委員	横山修委員、内山博子委員、伊佐治琢磨委員、岩松正晴委員、石川恭委員、藤野奈緒子委員、黒田みどり委員、中川清委員
欠席委員	平岩文雄委員、加藤治好委員
事務局出席者	教育長（杉山）、生涯学習部長（大見）、スポーツ課長（野畑）、スポーツ課長補佐（石原）、施設管理係長（籠瀬）、スポーツ振興係主事（鳥居、河村）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民憲章唱和</li> <li>2 委員の委嘱</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 正・副会長の選出</li> <li>5 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）平成28年度事業実績及び第2次計画目標値の平成28年度達成状況について</li> <li>（2）平成29年度事業計画について</li> <li>（3）第2次スポーツ振興計画重点施策及び平成29年度主要取り組み事業について</li> </ol> </li> <li>6 報告事項</li> </ol>

### 1 市民憲章唱和

### 2 委員の委嘱

全委員へ委嘱

### 3 教育長あいさつ

### 4 正・副会長の選出

会長には横山修委員、副会長には平岩文雄委員を選出

### 5 議 題

#### （1）平成28年度事業実績及び第2次計画目標値の平成28年度達成状況について

##### 【事務局説明】

資料P3～P6にて、平成28年度の主要事業実績について説明

資料P7～P8にて、第2次計画目標値の達成状況について説明

##### 【質疑応答】

（石川委員）

第2次計画の目標値について、53%は厳しいと感じているが、過去のアンケート結果

から順調に実施率が延びている。このまま、東京オリンピックに向け、年2%ずつ延びていけば、達成も十分可能と期待している。この中で、参考の中高校生については学校課外活動も含めての数値か。部活動も含めると数値が高くなると思う。

(スポーツ課主事 河村)

この数値については既に部活動を含めた数値である。体育の授業は含まれていない。

(藤野委員)

平成25年のアンケートではスポーツを実施していたが、継続しなかった、又はやめてしまった理由など、スポーツを続けることが出来なかった方に対しての分析はしたのか。

(スポーツ課長 野畑)

アンケートの中で、スポーツをやめてしまった方への分析はしていない。ただ、第2次計画からは、誰もがライフステージに応じて運動が出来るよう、運動の定義をスポーツだけでなく、散歩などの身体活動も運動としてとらえている。今後は、気軽に取り組めることをPRしていく。

(藤野委員)

普段、バレエの活動をしている中で、それぞれの生活スタイルから継続出来なくなる方もいるが、身体がついていかない、思ったよりつらいなど身体的な理由から活動をしなくなる方が多いと感じる。継続して活動するには、無理をしないでやれることが大切と考える。

(スポーツ課長 野畑)

藤野委員が感じているとおりでである。そのため、安城市ではラジオ体操を推進している。ラジオ体操は国民体操として広く周知されており、音楽が流れれば自然に体が動き、誰でも気軽に参加することができる。このラジオ体操を活用して、それぞれのライフステージに応じた活動を推奨していく。

(スポーツ課主事 河村)

なお、先ほど藤野委員からご意見いただいたアンケートについては、本日お配りした別紙1の「第2次安城市スポーツ振興計画」のP4～14までに結果が記載されているので、またご参照ください。

## (2) 平成29年度事業計画について

### 【事務局説明】

資料P9～P11に関して、平成29年度の事業計画について説明。

### 【質疑応答】

(黒田委員)

施設に関して、ほく部みんスポが活動している東山中地区では、北部小学校の体育館が今年度よりリニューアルしたが、スポーツ活動の音が気になるとの苦情もあり、利用が午後8時までと制限されてしまった。また、今年度体育館の改修に伴い、他の学校や公民館などの施設で、場所の取り合いが起こっている。個人的には公共施設について、利用者に優先権は無いと思っている。ウォーキングやランニングなど公道を利用して気軽

に実施できる運動もあるが、多くの競技は体育館やグラウンドを必要とする。ほく部みんスポも場所取りには苦労しているが、今後、スポーツ施設が増えることもあるのか。

(スポーツ課長 野畑)

騒音に関しては取扱いが難しく、近年シビアになってきている。スポーツを楽しんでいる方がいる一方でスポーツが嫌いな人がいるのも事実。また、それぞれの生活スタイルや音の捉え方で、感じ方も変わってしまう。総合運動公園でも、同じような苦情はいただくことはあるが、その都度対応するしかないと思う。体育館の改修についてはご迷惑をかけます。黒田委員の言うとおりに、利用の優先は無いので皆様で話し合っって仲良く活動していただきたい。施設については作って良しではない。一時的には良くなるものの、活動者が増えれば、また同じことの繰り返しとなる。

(横山委員)

スポーツ推進委員の活動では、デンソー高棚製作所の体育館をお借りし、活動することもある。公共以外にも民間の活用など地域で連携して活用してほしい。

(岩松委員)

今、横山委員からお話があった通り、(株)デンソーでは時間や日程は多少、制限はさせていただくものの、地元の方々に体育館やグラウンドの貸し出しを実施している。ただ、こちらも多くの方に予約を頂いており、土日については半年前から予約で埋まっている状態である。

(石川委員)

P10のスポーツ施設の改修について、今回の体育館の改修ではスポーツ利用に対する調査把握をして計画を盛り込んでいるか。また、オリンピックをきっかけに、ラケットスポーツに人気が集まっている。今回の改修では、備品や施設についてラケットスポーツに対応できる改修を盛り込んでいるのか。

(スポーツ課長 野畑)

市としてニーズの調査は実施していない。今回の体育館の大改修は耐震補強や床の張替えなどのほか、外壁や空調など、築年数の劣化、老朽化の補修がメインの工事である。その中でも今まで体育館で実施できなかったハンドボールやフットサルがアリーナで実施できるようになるなど、より利用しやすくなるような工夫は盛り込んでいる。まだ決定していないが、愛知県が誘致を目指しているフットサルワールドカップが誘致された場合には、練習会場として利用することも想定している。また、ラケットスポーツに対しては、現在も大会議室で卓球が出来るように開放し、既存施設の有効利用を促進している他、体育館の貸し出し物品でバドミントンやミニテニス、卓球などのラケットを貸し出しするなども実施している。

(3) 第2次スポーツ振興計画重点施策及び平成29年度主要取り組み事業について

**【事務局説明】**

資料P12に関して、第2次計画の重点施策及び平成29年度に重点して取り組む事業

について説明

【質疑応答】

(中川委員)

日頃、ラジオ体操を近所の公園で毎日実施しているが、昨年度安城市が主催したラジオ体操の講習会に参加した。当日、NHKの先生による指導をいただき、普段の動きがいかに間違っていたのかに気づかされた。今年度は実施しないと聞いているが、正しいラジオ体操を知らない方も多いため、今後も継続的に実施することで効果が出ると思う。

(スポーツ課長 野畑)

そのとおりである。継続して実施することに意義があると考えている。NHKの先生ではないが、毎年7月頃に愛知県ラジオ体操連盟の指導士をお招きし、講習会を実施している。その他、正しいラジオ体操を効果的に伝えていく為にスポーツ推進委員さんと連携しながら、指導者の養成も検討している。今年度は市制65周年を記念してラジオ体操会の実施を検討しているほかにも指導会の機会を充実していく。また、昨年度実施した、NHKの講習会は受付開始当日に先着人数になるなど、想定外の反響があった。今年度については、予算と相談しながらとなるが、検討する。

(藤野さん)

ラジオ体操に関して、普及指導員などの資格があると伺っているが、そういう方の活用や安城市の指導員の把握はしているのか。

(スポーツ課長 野畑)

指導員に関して、昨年度愛知県で講習会の実施があり、スポーツ課職員とスポーツ推進委員9名で参加したが、現状を把握はしていない。現在は各学校でも実施していなく、先生方が子どもに対して教え方を分からないなど課題があるので、そこに向けたアプローチを実施したい。

(藤野委員)

活用できる制度を活用して、NHKの講師ではなくても、気軽にできる方が増え、派遣できると良い。

(スポーツ課主事 河村)

現在、市のまちかど講座のプログラム内で、ラジオ体操の講習会は希望があれば、職員が出向いて実施しており、年間5回程度の講座を実施している。今年度も既に子ども会から6月と7月に依頼がきている。

(藤野委員)

そういった情報はどこで見ることが出来るのか。指導者一覧や申込など、誰が見ても分かる仕組みや工夫があると良い。その中で子ども会などが活用できる機会が増えると思う。

(スポーツ課長 野畑)

市Webサイトが見づらいのは行政の課題と感じている。より見やすく改善する一方、膨大な量の情報を提供するには限界がある。我々だけで解決できる話ではないが、改善できるよう努力している。また、まちかど講座は市のような分野の内容が盛り込まれておりそのひとつとしてスポーツ課でラジオ体操を実施している。

(石川委員)

ラジオ体操の推進について、子どもや若い世代へのアプローチをどう考えているのか。小中学校では指導要領にラジオ体操が書かれていないため、簡単なストレッチをして体育や運動会を行っている。高校ではどうか。

(伊佐治委員)

全高校は分からないが、少なくとも安城南高校では、体育の授業の前に実施している。ラジオ体操は、伝統文化の意味合いも含まれていると感じているので、伝統継承ではないが後世に伝えていく必要があると感じている。例えば、市として保育園から小学校、中学校と一環して、ラジオ体操に取り組めるようなシステムを実施するなど、小さい時から携わるようになれば続いていくと感じる。

(スポーツ課長 野畑)

昨年度から学校と連携して、運動会や体育祭の準備運動でラジオ体操を実施していただいている。また、教員向けの講習会を実施するなど先生から子ども達に教えられる技術の習得に努めている。今年度も継続して実施をしていきたい。

【全委員了承】(議題(1)～(3))

## 6 報告事項

【事務局報告】